

# アフガニスタンのリーシュマニア症

2010年 10月 16日 ProMED 情報

(Government of the Islamic Republic of Afghanistan; World Health Organization)



10月14日世界保健機関(WHO)は、これまで軽視されてきた熱帯病についての最初の世界的報告を行いました。その中で、アフガニスタンにおいて、1,300万人(特に女性)がリーシュマニア症により健康上の脅威にさらされていることを強調しています。

カブールは、皮膚リーシュマニア症に関して世界の首都として広く知られています。カブールの患者数は最近急激に増加し、年平均17,000名から2009年には65,000名に達しました。しかしながら、検査手段が十分でないことや顔に醜い病変ができることなどから、診察を受けていない者も多く、実際の患者数は、これ以上になると推定されています。

皮膚リーシュマニア症はサシチョウバエによって伝播される寄生虫疾患で、主な症状は皮膚のただれで、サシチョウバエに刺された後数週から数カ月後に出現します。

サシチョウバエは6月から9月にかけて増殖し、ゴミの山などの不衛生な環境で繁殖します。多くの犠牲者は、夜間ハエに咬まれやすい屋内で生活する女性や子供たちです。蚊帳で予防でき、薬で治療できる病気なので、早期診断、早期治療が重要です。WHOによると、世界中で約1,200万人の患者が存在し、毎年新たに100万人から200万人が報告されています。(この部分10月17日ProMED情報(Yahoo))